2021年11月号

しらさぎ

しらさぎ保育園
VOL54　NO.8
(通巻642号)

http://www. sirasagi－hoiku. com/

✿11月のテーマと内容

	テーマ	内　　容
0才児	**外遊び満喫！**	靴を履いて1、2、1、2！園庭を散歩する。手押し車やボール遊びをして、外遊びを楽しむ。
1才児	**絵本って楽しい**	絵本の読み聞かせが始まるとどんな話かな？と興味津々で集まってくるみんな。ワクワク、ドキドキしながら絵本の世界を楽しむ。
2才児	**自分でできるよ**	自分で衣服を着脱し、脱いだ服をたたむ練習中。できた喜びを味わい、自分でできることが増える。
3才児	**リズム打ちを楽しもう**	ピアノの音や曲に合わせて、タンバリン、カスタネットなどの楽器や手拍子で正しくリズムを打つ。
4才児	**自信を持って**	発表会に向けて劇の台詞を覚え、元気よく楽しく演じ褒められて自信をつける。また、みんなでひとつのものを作り上げる喜びを味わう。
5才児	**気持を合わせて**	色々な楽器にチャレンジ。ピアノの音や友だちの楽器の音をよく聞いて気持をひとつに演奏する。

✿11月のプラン

10日(水)　内科健診(3才児未満)
《たんぽぽ組・もも組・さくら組》

11日(木)　歯科検診

15日(月)　弁当日

17日(水)　内科健診(3才児以上)
≪すみれ組・ばら組・ゆり組≫

≪園庭開放中止≫

～行事について～

行事	内容
第53回発表会	12月4日(土) 対象2.3.4.5才児 クラスごとの完全入れ替え制 ひと家庭2名
保育参観日	もも組(1才児)　2月8日(火) さくら組(2才児)　9日(水) すみれ組(3才児)　10日(木) たんぽぽ組(0才児)　15日(火) ばら組(4才児)　16日(水) ゆり組(5才児)　17日(木) ひと家庭1名

楽しい学びが詰まった劇遊び

園長　秋保めぐみ

昨年の発表会は、新型コロナウイルスの感染拡大によって中止か開催かの選択に心悩みましたが、今年は予定通り行えるのではという期待を感じています。
今年の発表会は、2才児以上のクラスで行います。さくら組とすみれ組は劇遊びを、ばら組とゆり組は合奏と劇を発表します。当園は発表会に毎年劇をしています。劇の題材に選ぶ日本昔話やアンデルセン童話、グリム童話などには、わくわくする冒険や初めは貧しい人たちが優しさや知恵を使って思いを果たすサクセスストーリーがあふれています。保育者が絵本を読み聞かせると、子どもたちの好奇心が膨らみ想像の世界がどんどん広がっていきます。物語の登場人物になりきって演じることで、優しさ、頑張る力、仲間がいる喜び、助け合う心などを感じてくれたらと思います。劇遊びには、楽しい学びがたくさん詰まっています。当日、子どもたちがどんな演技を見せてくれるのか楽しみにしていて下さい。

保育者の声

ばら組担任　安養寺優奈

11月8日は「いい歯の日」です。ばら組では大きい物はお箸で小さくし、柔らかいものもまるのみしないで、よく噛んで食べるように声をかけています。でもついつい一口で頬張って、口の中がいっぱいになったり、周りが気になって噛む回数が少なくなったりすることがよくあります。先日、乳幼児向けのパンで10ヶ月の赤ちゃんが窒息して亡くなる事故がありました。赤ちゃんに限らず幼児でも起こりえることです。窒息事故が起こらないよう、また虫歯の予防のためにも保育園ではよく噛んで食べるようにこれからも指導していきます。

栄養士　林 歩美

今年も新米の季節がやってきました。新米とは収穫年の12月31日までに精米・包装されたお米。日本では新米のような初物は縁起物として古くから親しまれてきました。新しい命がみなぎるものとして「寿命が延びる」「東を向いて笑いながら食べると福を呼ぶ」といった言い伝えも残っています。この機会に縁起物の新米をおいしく食べて元気をもらいましょう。

お箸の練習

さくら組担任　和田夏実

さくら組は、8月からお箸を使って食事を食べる練習を始めました。初めは持つこともなかなかで掴むこともできず苦戦し、「できない。スプーンで食べる」とすぐに諦めていましたが、毎日お箸を使うことで少しずつ慣れてきて今では「最後までお箸で」と言う子が増えました。引き続き食事以外に練習時間を設けて、じっくりと個別にお箸の練習をしていきます。年長になっても食事の時正しくない持ち方をしている子がいます。そのままにしておくと握り箸などのクセがついてしまいますので、お箸の使い方が上手になるようご家庭と園と双方で頑張っていきましょう。

＜編集後記＞

秋といえば「食欲の秋」と思い浮かべますが「読書の秋」とも言います。私は実際にあったお話を小説にしている本を読むのが好きで学生の頃はよく図書館に行って読んだり本屋さんで探したりしていました。仕事を始めてからは本を読む機会が少なくなりましたが、本を読むことは大切なことだと思います。今年の秋は、色々な種類の本をたくさん読もうと思います。そして、子どもたちにもたくさんの本を読んでお話の世界の楽しさを知らせていきます。(野矢)

＜今月の担当：小田嶋幸恵・和田夏実・野矢真穂＞